

# WORLD LEADING HOTELS

Vol.215



小原康裕が訪れる世界のリーディングホテル  
「ローズウッド香港」



筆者 **小原 康裕**  
国際ホテルジャーナリスト

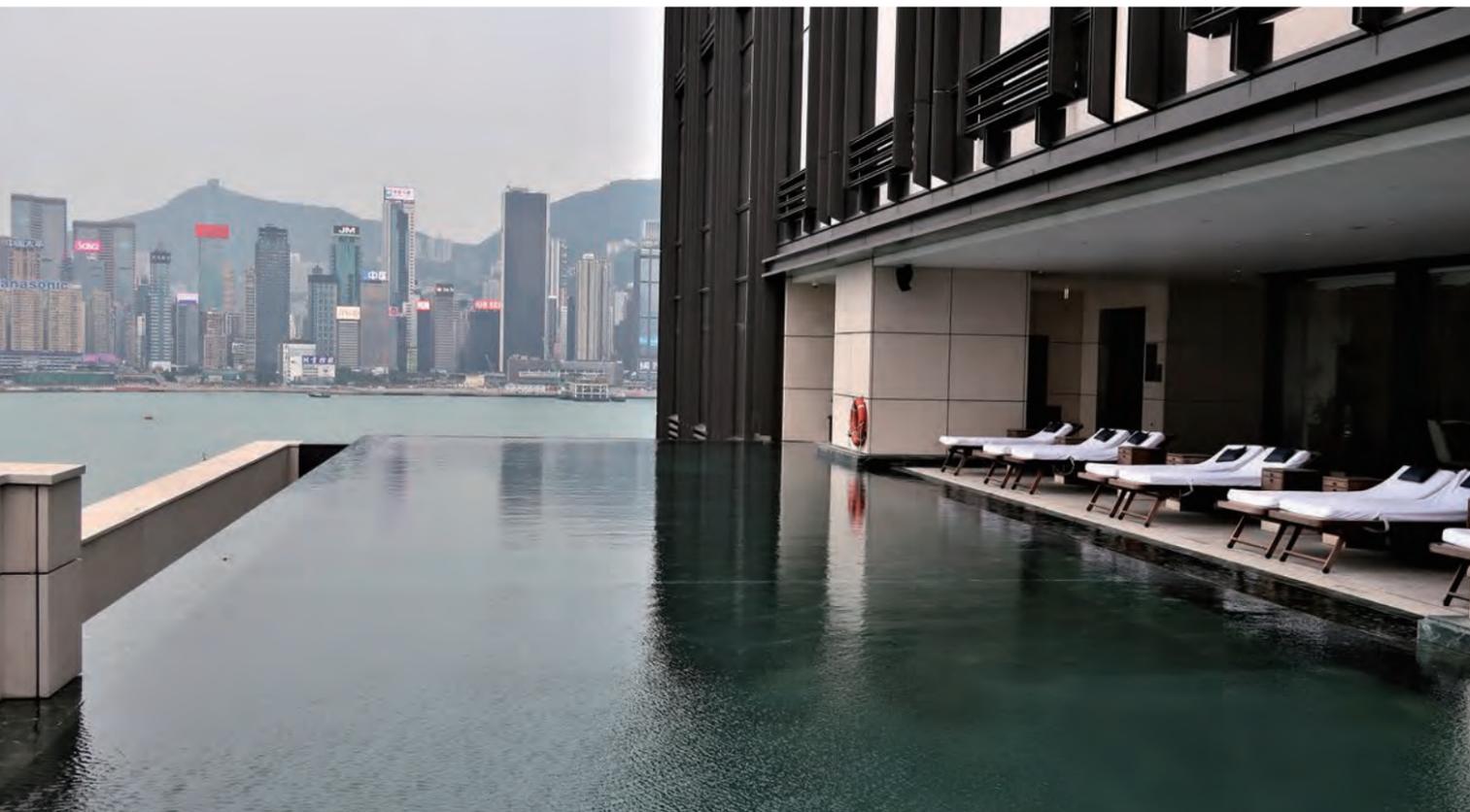
慶応義塾大学法学部法律学科卒。  
1974年 Munich Re 入社。  
2001年投資顧問会社原健設立、  
代表取締役 CEO。  
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント  
協会常務理事。  
SKAL International Tokyo、  
Professionnels du Tourisme 会員。  
JARC、日本宿泊施設関連協会  
アドバイザーボードメンバー。  
[www.jhrca.com/worldhotel/?cat42](http://www.jhrca.com/worldhotel/?cat42)  
[www.hoteresonline.com](http://www.hoteresonline.com)  
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>

# Rosewood Hong Kong

ビクトリア・ハーバーから望むローズウッド香港「Rosewood Hong Kong」の全景。香港出身で「Rosewood Hotels & Resorts」のCEO ソニア・チェン女史にとって九龍は特別な場所であり、その情熱が世界でも屈指のホテルを造り上げた



スーツに身を包んだドアスタッフが待機するローズウッド香港「Rosewood Hong Kong」の正面エントランス。2019年3月17日、香港のヴィクトリア・ハーバーを見下ろす九龍半島・尖沙咀のウォーターフロントにオープンした。世界中にネットワークを広げる「Rosewood Hotels & Resorts」の旗艦ホテルである



香港島の摩天楼を望むオープンエアの優雅なスイミングプール。インフィニティプールなので、思わずヴィクトリア・ハーバーに吸い込まれそう

### Rosewood Hong Kong

ローズウッド香港「Rosewood Hong Kong」は2019年3月17日、香港のヴィクトリア・ハーバーを見下ろす九龍半島・尖沙咀のウォーターフロントにオープンした。世界中にネットワークを広げる「Rosewood Hotels & Resorts」の旗艦ホテルである。香港出身のCEO ソニア・チェン女史にとって九龍は特別な場所であり、その情熱が世界でも屈指のホテルを造り上げた。彼女はハーバード大学卒で3児の母、コングロマリット「New World Development」を率いるチェン一族の三代目である。ローズウッド香港の立地するエリアは1910年にホルツ&ワーフ社が所有する埠頭としてその歴史をスタートした。この地区の開発は新世界発展が担い、隣接する65階建ての複合施設ビル「ビクトリア・ドックサイド」はローズウッドが運営し、Kohn Pedersen Fox Associatesが設計を担当している。

ローズウッド香港の館内にはオーナー一族が所有する美術館並みのアートが至るところに惜しみなく飾られ、エルメスやロロ・ピアーナのファブリックがさりげなく壁紙として使われファッション性も感じられる。約40年前にダラスでキャロライン・ローズ・ハント女史が「Rosewood」ブランドとして立ち上げた「Mansion on Turtle Creek」に敬意を表し、さらにニューヨーク在住のトニー・チーのクリエイティブなタッチによってデザイン性に磨きがかかった。ローズウッド香港のクオリティーの高さは、特にエグゼクティブラウンジの「Manor Club」に反映されている。いわゆる Ritz-Carlton などでお馴染みのクラブラウンジだが、ハード、ソフト面で比較にならない程ゴージャスな雰囲気だ。

今回はヴィクトリア・ハーバーを望む気品あるスイート「Harbour Corner Suite」をご紹介したい。123㎡を有するコーナースイートで、香港島の圧倒的景観を独り占めする極上空間だ。ローズウッド香港は多彩なレストランを展開しており、スタイリッシュで正統派の広東料理「The Legacy House」、チョコレートとシガー、カクテルが充実したシックなバー「Dark Side」、コンテンポラリーな「Holt's Café」など食に飽きることはない。またスパ施設「Asaya Spa」はバリムードのトリートメントルームや香港島を望むオープンエアのスイミングプールなどきめ細かい質感が心地よい。

ローズウッドのリムジン艦隊も健在で、往路はロゴマークの入った最新型の「Range Rover」。復路はお馴染みの「Jaguar XJ」という、クルマ好きにはたまらない送迎もリクエストできる。香港九龍サイドには Peninsula、InterContinental (旧 Regent)、Ritz-Carlton など競合ホテルが目白押しだが、最新鋭ローズウッド香港のホスピタリティーにゲストは必ず満足すると思う。

## Rosewood Hong Kong



ビクトリア・ハーバーに沿って遊歩道が設置され、そこから見上げるローズウッド香港「Rosewood Hong Kong」の全景



ローズウッド香港エントランス前で、GMのMarc Brugger氏と筆者



エグゼクティブラウンジ「Manor Club」の気品あふれるクラブの内部。いわゆる Ritz-Carlton などでお馴染みのクラブラウンジだが、ハード、ソフト面で比較にならない程ゴージャスな雰囲気だ



客室が並ぶ 24 階以上のフロアにはゆったりとしたサロンが設けられている。驚くことに、この空間はエレベーターホールで、各階の意匠・置物はすべて異なるという。いわば、その階に宿泊するゲストが自由にくつろげるプライベートな空間と言える



「Manor Club」のレセプションデスク。手前にはバーカウンター、ビリヤードやカードルームなど用意され、まさにクラブとしての完成度である



ラウンジ奥にミールテーブルが置かれ、アフタヌーンティー、ライトディナー、ブレイクファストなどのメニューがセッティングされる



スパ施設「Asaya Spa」のレセプションフロアにはトリートメントに使用する各種アロマオイルや薬草が展示されている



「Asaya Spa」のトリートメントルーム。レセプションから外のテラスに出ると個別のトリートメントルームが並ぶ



専任パトラーが待機しており、ゲストにスマートなサービスを提供する



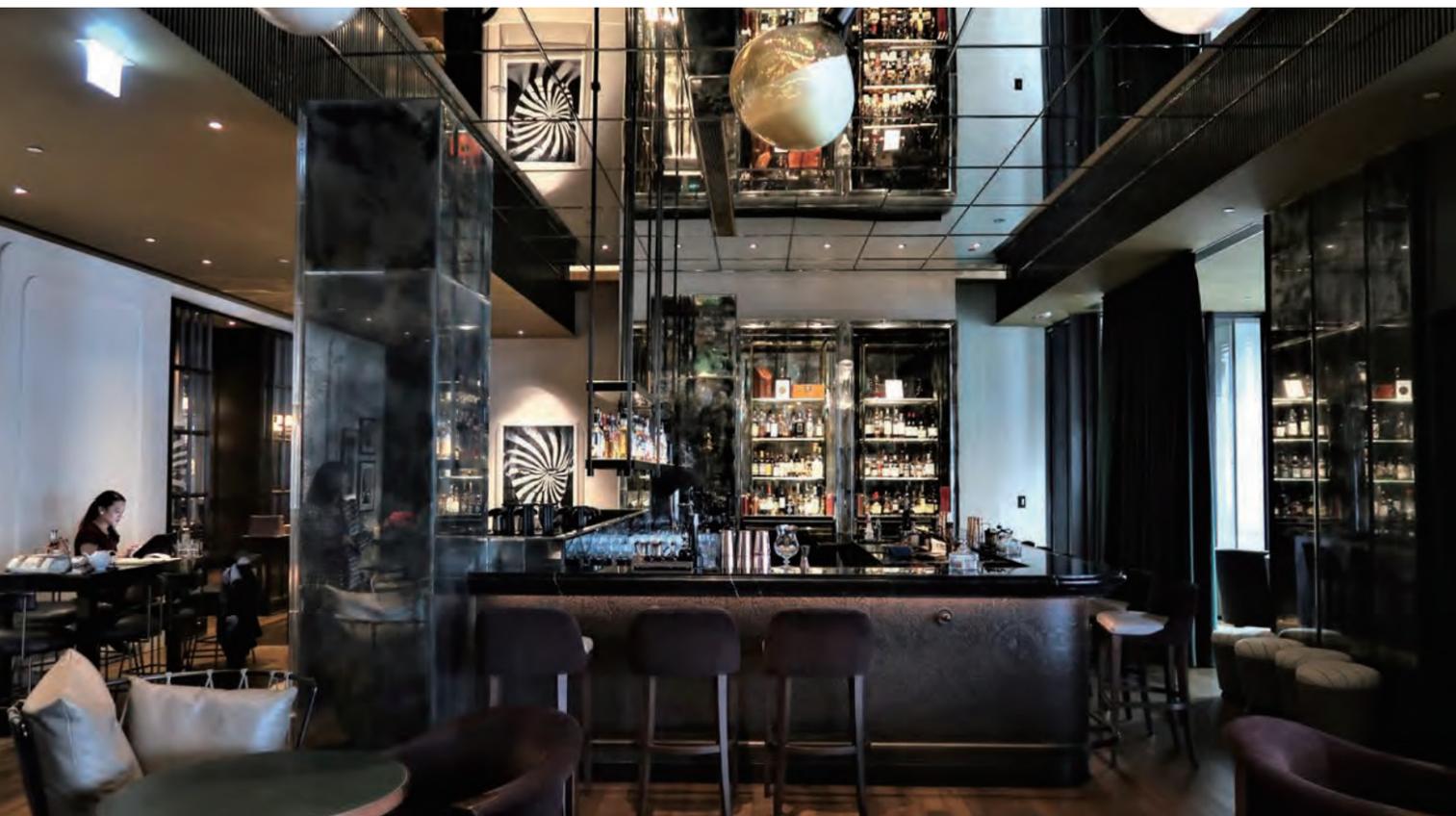
「Manor Club」にはテラスが設置され、ここから香港島に林立するビル群の絶景を楽しめる



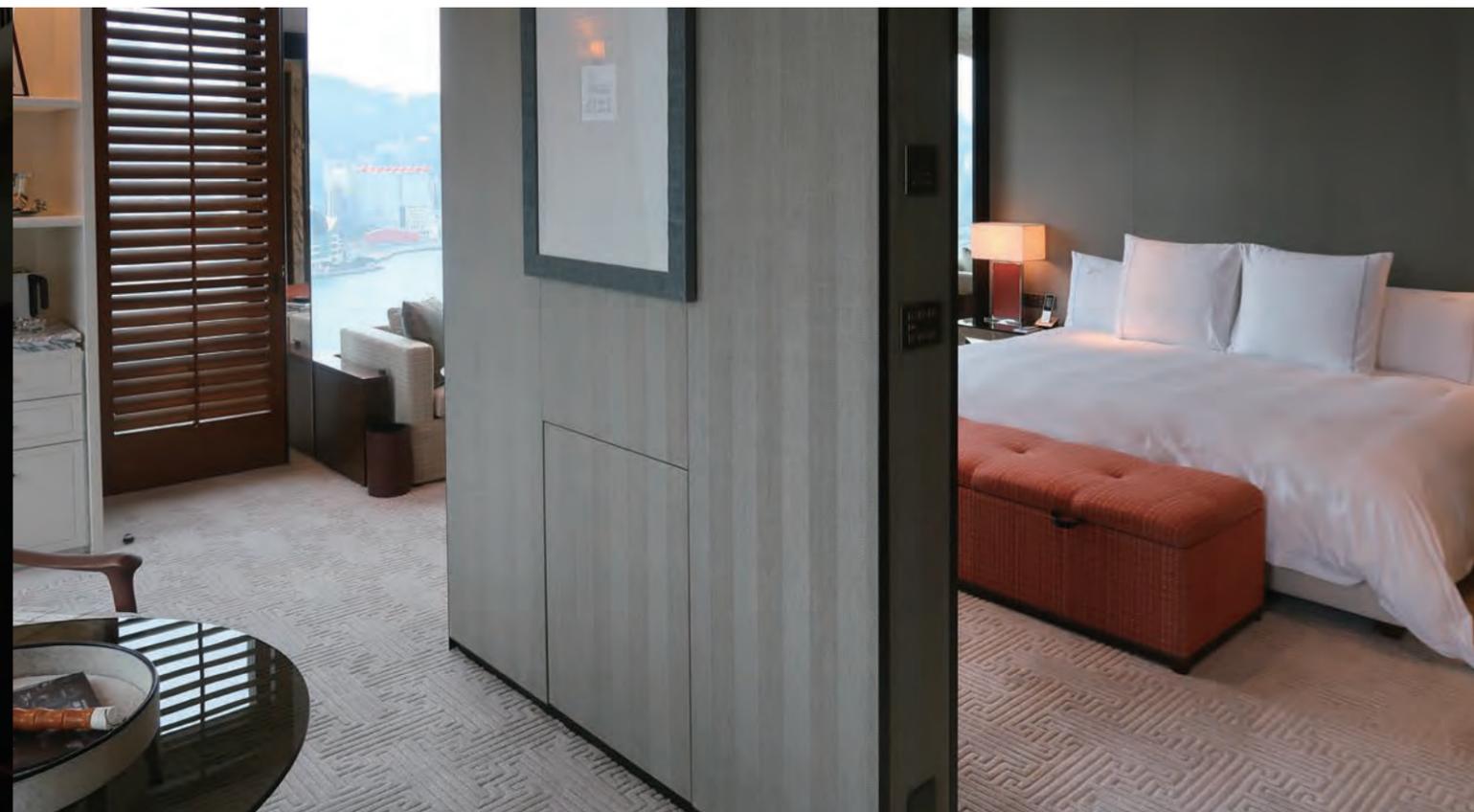
スイミングプールとリンクしたカジュアルレストラン「Asaya Kitchen」。ダイエットメニューなどヘルシー志向の料理が人気だ



インフィニティプール「Asaya Pool」は、オープンエアのデッキチェアとインルムのラウンジが用意されている



厳選されたシガー、カクテルが充実しているシックなバー「Dark Side」。ホテルの立地する九龍半島側は、香港島の市民から「ダークサイド」と揶揄されていることから、あえて店名にした逸話がある。大人のバー空間だが珍しいチョコレートもメニューにあり面白い



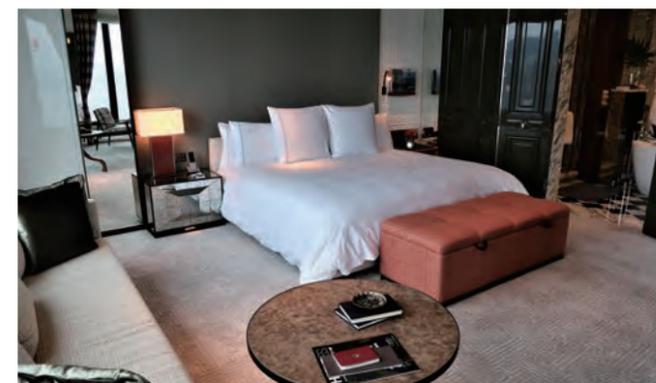
ビクトリア・ハーバーを望む気品あるスイート「Harbour Corner Suite」のベッドルーム。123㎡を有するコーナースイートで、香港島に林立する摩天楼の圧倒的景観を独り占めする至高の空間だ



ダミアン・ハーストによる蝶のアートがシンボルの「The Butterfly Room」。華やかな雰囲気アフタヌーンティーが人気だ



「The Butterfly Room」と「Holt's Café」の間に設けられた高級茶葉の展示コーナー



「Harbour Corner Suite」のエレガントなベッドルーム。極上のリネンを使ったピローケースにはゲストのイニシャルが刺繍されている



カーペットとカーテンのチェック柄が印象的なリビングルーム。このスイートは角部屋が連続するスタイルなので、ベッドルームもリビングもすこぶる眺望が良い



ブレックファストのセッティングをした「Holt's Café」のカウンター。コンテンポラリー感覚の店内で、点心、ヌードル、香港式フレンチトーストなど幅広いラインナップだ



スタイリッシュで正統派の広東料理「The Legacy House」。店名は、オーナーの祖父のレガシーに思いを込めた意味から名付けられた



極上の空間レイアウトを誇るバスルーム。独立したバスタブには専用ピローが付き、シャワールームとシンクが二つずつ設置されて機能性と快適性も秀逸である



綺麗に磨き上げられたシンクや特注の石鹸には、風水で縁起のいい八角形が使われている